

2024年6月21日

関係各位

一般社団法人全国信用金庫協会

一般社団法人全国信用金庫協会の新役員体制について

一般社団法人全国信用金庫協会は、経団連会館（東京都千代田区大手町）で本日開催した第154回通常総会において、任期満了に伴う理事・監事の選任を行うとともに、総会終了後に引き続き開催した理事会において、別添1のとおり会長、副会長、専務理事および常務理事を決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、平松全信協新会長の就任にあたっての挨拶は別添2のとおりです。

以上

(別添1)

一般社団法人全国信用金庫協会の正副会長及び常勤役員

2024年6月21日

会 長	平 松 廣 司	(かながわ信用金庫・理事長)	
副 会 長	樋 口 郁 雄	(福 島信用金庫・理事長)	
副 会 長	小 森 哲	(佐 原信用金庫・理事長)	新任
副 会 長	高 橋 知 史	(大阪シティ信用金庫・理事長)	新任
副 会 長	八 木 敏 郎	(多 摩信用金庫・会 長)	新任
副 会 長	中 澤 康 哉	(桑名三重信用金庫・会 長)	新任
副 会 長	武 田 龍 雄	(広 島信用金庫・会 長)	新任
専務理事	市 川 崇		
常務理事	石 田 祐 二		
常務理事	重 藤 哲 郎		新任
常務理事	菅 野 浩 之		

以 上

「全国信用金庫大会」における平松全信協会長の就任挨拶要旨

日 時：2024年6月21日（金）

15時00分～

場 所：経団連会館

2階 国際会議場

先ほど開催された総会、理事会におきまして、新たに会長に選任されました平松でございます。

業界にとりまして、極めて難しい問題・課題が山積しておりますが、前任の御室会長をはじめ、これまで業界の先達が築き上げ、継承して参りました信用金庫の理念をしっかりと守り、これからも地域の皆様から信頼される地域密着の協同組織金融機関でありますように、一生懸命努力して参りますので、ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本日ここに、「全国信用金庫大会」をかくも盛大に開催することができましたことは、私ども業界にとりまして、喜びにたえない次第でございます。

とくに本日は、公務ご多忙の中、岸田内閣総理大臣をはじめ、多数の来賓各位のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

また、日頃から、私ども信用金庫に対して、深いご理解・ご支援を賜り、全国の信用金庫を代表いたしまして、心より厚くお礼を申し上げます。

本日は、私ども信用金庫業界の当面の諸課題について、率直に所見を述べさせていただくとともに、ご来賓の皆様からのご挨拶を賜りまして、私ども信用金庫の今後の経営の指針とさせていただきたいと存じます。

どうぞよろしくお願いを申し上げます。

それでは、この機会に、業界が取り組むべき課題を5点、申し述べたいと存じます。

1点目は、「新3か年計画の積極的な推進」です。

これまで業界では、個別信用金庫が経営計画を策定する際の参考として「中期経営計画策定要綱」を作成してまいりました。現策定要綱の計画期間が今年の3月をもって満了となったことから、この度「しんきん『未来を拓く変革への挑戦』3か年計画」を策定し、本年4月からスタートしております。

新たな策定要綱では、信用金庫の目指すべき姿として「会員、お客さま、そして職員をはじめとする地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、協同組織の地域金融機関として地域が抱える課題解決に貢献し、持続可能な地域社会を創る」ことを掲げ、そのために必要となる取組みを例示しています。

個々の信用金庫が置かれた状況は様々ですが、新3か年計画の推進を通じて、すべての信用金庫がそれぞれの地域において必要不可欠な存在であり続けることを目指してまいりたいと考えております。

2点目は、「事業者支援の促進」です。

我が国の景気は、コロナ禍の収束につれて、緩やかに回復しています。一方で、円安に伴う原材料価格の高騰や引き続く物価の上昇は、取引先中小企業の経営に重くのしかかり、また家計の負担増となっています。

日本銀行は、本年3月、「マイナス金利政策の解除」と「イールド・カーブ・コントロールの撤廃」を決定しましたが、今後、政策金利の引き上げが早いペースで進んでいくと、企業や家計の資金調達コストの増加が、不確実性の高い海外経済の動向とも相まって、回復途上の日本経済の下押し圧力ともなりかねません。

信用金庫は、これまでも取引先中小企業が直面する様々な経営課題について、金融仲介機能の発揮をはじめ、販路拡大、事業承継、デジタル化への対応や海外進出支援など、その課題解決に実直に取り組んでまいりました。

今後も信用金庫は、外部機関との連携なども含め、事業者支援を促進することによって、取引先中小企業や地域社会の持続的な発展に寄与し、地域社会の礎としてその役割を發揮していく所存であります。

3点目は、「環境変化に対応した経営基盤の強化」です。

信用金庫が地域社会の課題解決に貢献し、地域経済の回復と発展を支えていくためには、今後想定しうる環境変化を見据えたりスク管理や業務の合理化・効率化により経営基盤を強化し、将来にわたって健全性を確保していくことが必要です。

特に現下の情勢においては、さらなる金利上昇局面に備えて、金融市場の動きを注視したポートフォリオ管理に、より一層留意する必要があると考えております。

また、信用金庫の経営基盤の強化のためにも、人材の確保、育成を通じた人的基盤の確立と、職員が能力を発揮し、働き甲斐を感じられる組織文化、組織風土の醸成を図ることが肝要であり、近年の環境変化も踏まえ、前向きな対応が求められているものと考えております。

4点目は、「進展するデジタル技術への適応」です。

昨年は、対話型AIに代表される生成AIが世界を席卷いたしました。AIの進化は、デジタル技術の進展を牽引する大きな潮流となっています。

信用金庫の経営においても、職員の業務に供する時間の捻出や取引先中小企業・個人顧客のニーズの変化に対応するために、デジタル化への取組みを積極的に推進して生産性を高めていかなければなりません。

信用金庫は、デジタル技術の進展の動向を絶えず注視しつつ、業務やサービスに関するデジタル化の取組みを一段と加速し、社会環境の変化に対応していく必要があると考えております。

5点目は、「戦略的な広報の実現」についてです。

信用金庫が自らの存在意義を地域社会の皆さまに認めていただくためには、地域社会において信用金庫の理念・活動・サービスなどに対する理解を深めていただき、地域やSDGsに貢献する取組みについても広くアピールしていく必要があります。

このため、全信協において、個々の信用金庫が単体で手掛けにくい広範かつ多様な広報活動を業界として展開していくことで、「特に若者に対する信用金庫の認知度や

好感度の向上」や「信用金庫の顧客数の増加、顧客層の拡大」、「優秀な人材の確保」に繋げていくことが求められています。

こうした業界の広報の目的を達成するため、広報対象となる世代等や伝えるべき信用金庫の価値を明確に設定し、それらに応じた最適な表現・手法を選択するなど、より効果的な広報活動をより効率的に推進してまいりたいと考えております。

以上、いろいろと申し述べましたが、地域社会との共生を基本理念として実践してきた私ども信用金庫は、今後も、地域社会や中小企業の育成・発展のため、業界の英知と総合力を結集して尽力してまいります。

どうか、本日ご臨席の関係各位におかれましては、私どもの真摯な取り組みに対する深いご理解を賜り、引き続き、格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以 上